



追加型投信／内外／株式

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（為替ヘッジあり）
〈愛称：健次（ヘッジあり）〉**決算・分配金のお知らせと運用状況のご報告**情報提供資料
2021年8月

※ 本資料は、ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（以下、「ウエルントン社」ということがあります。）のコメントをもとに三菱UFJ国際投信が作成しています。

平素より、「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（為替ヘッジあり）〈愛称：健次（ヘッジあり）〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは2021年8月27日に第10期の決算を迎え、基準価額水準が10,000円（1万口当たり）を上回ったことから、分配金は下記のとおりとなりましたことをご報告いたします。あわせて、当期の運用状況等につきましても、ご報告いたします。今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

決算情報

(2021年8月27日)

分配金

(1万口当たり、税引前)

1,386円**基準価額**

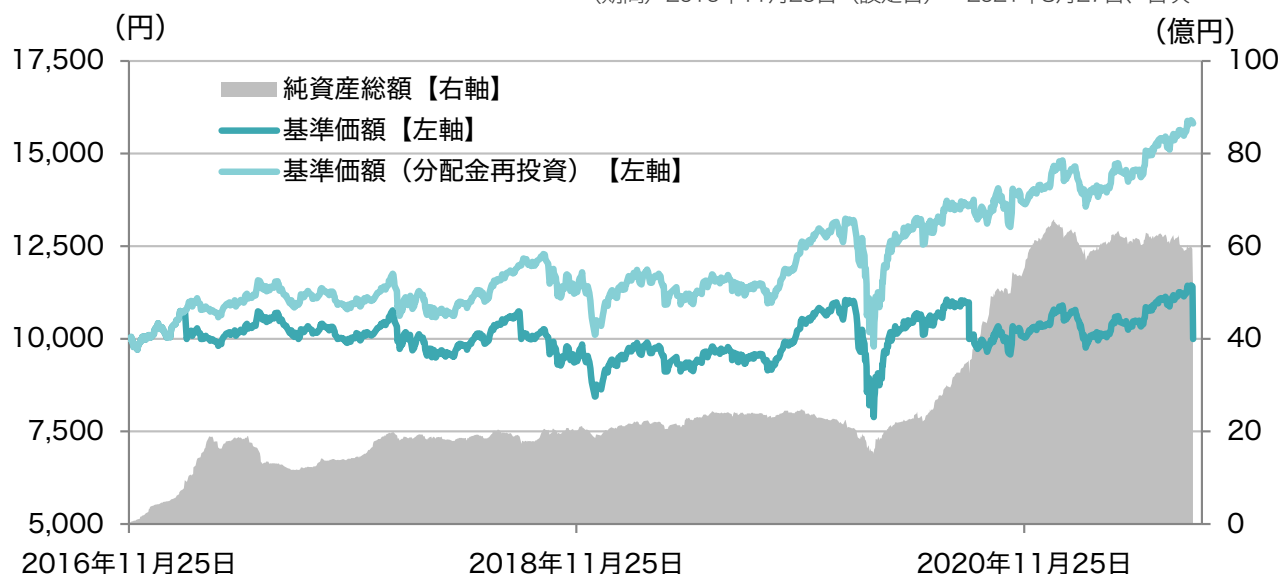
(1万口当たり、分配落ち後)

10,000円

※ 当ファンドは、原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（1万口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）

設定来の基準価額等の推移

(期間) 2016年11月25日（設定日）～2021年8月27日、日次



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

【分配金実績（1万口当たり、税引前）】

第6期 (2019年8月)	第7期 (2020年2月)	第8期 (2020年8月)	第9期 (2021年3月)	第10期 (2021年8月)	設定来累計
0円	357円	953円	221円	1,386円	4,784円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

■ 当期（2021年3月2日～2021年8月27日）の状況

➤ 市場環境の状況

・ 先進国株式

2020年後半から見られた米国金利上昇懸念が後退する中、米連邦準備理事会（FRB）の金融緩和姿勢の継続や米国の追加経済対策法の成立などに加え、欧米を中心とした新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）ワクチン接種の進展に伴う経済正常化が投資家センチメントを好転させ、先進国株式は上昇しました。

・ 先進国ヘルスケア株式

ヘルスケア株式特有の安定した収益性に加え、先進国株式市場での良好な投資家センチメントを背景に、先進国ヘルスケア株式は堅調に推移しました。2021年1-3月期および4-6月期の決算では良好な業績を発表するヘルスケア関連企業も多く、特に新型コロナのワクチン接種進展により今まで延期されていた治療や手術などの医療サービスが本格的に再開したことを受け、医薬品、ヘルスケア機器・用品、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスの企業などが上昇をけん引しました。

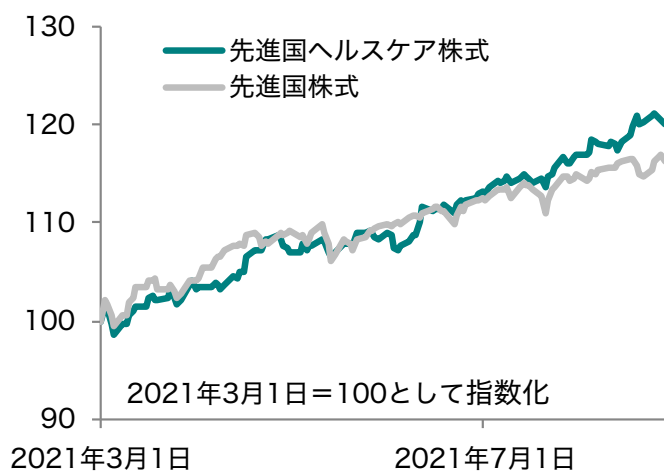
➤ 当ファンドの運用状況

世界的に新型コロナ感染拡大からの回復局面を辿る中、当ファンドでは株価のバリュエーション（割高・割安の度合い）を精査した上で、引き続き中長期的に成長が期待される銘柄を選定し、基準価額はおおむね上昇傾向で推移しました。新型コロナのワクチン接種進展の追い風を受けるユナイテッドヘルス・グループ、新型コロナのワクチン開発だけでなく新薬の開発能力を評価しているファイザー、以前よりアルツハイマー型認知症治療薬の開発に注目し長期にわたり保有を継続してきたエーザイやバイオジェンなどの医薬品、バイオテクノロジー企業の保有が、基準価額の上昇に寄与しました。

主な売買銘柄：上記バイオジェンや、新型コロナ抗体カクテル治療薬開発で注目を集めているリジェネロン・ファーマシューティカルズなどを利益確定のため全売却しました。また、心疾患向けの遺伝子治療薬開発に強みを持ち、2021年6月にIPO（株式公開）を行ったバーブ・セラピューティクスや、がん免疫治療薬開発に強みを持ち、2020年7月にIPOを行ったALXオンコロジー・ホールディングスなど、各分野で長期的な成長が期待できる新興企業などを新規購入しました。

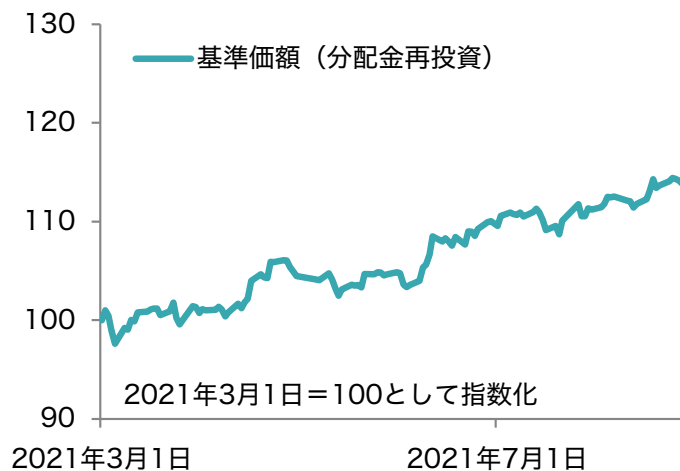
各指数のパフォーマンス推移

（期間）2021年3月1日（前期決算日）～2021年8月27日、日次



当ファンドのパフォーマンス推移

（期間）2021年3月1日（前期決算日）～2021年8月27日、日次



（出所）ウエリントン社のコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は指数（現地通貨ベース、配当込み）を使用しており、為替ヘッジコストは考慮していません。指数については【本資料で使用する指数について】をご覧ください。・指数は、当ファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。・業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業分類で分類しています。・基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。・上記は、ウエリントン社が基準価額に影響を与えたと判断した銘柄の一例を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

■ 当ファンドの基準価額に寄与（影響）した主な銘柄（2021年3月2日～2021年8月13日）

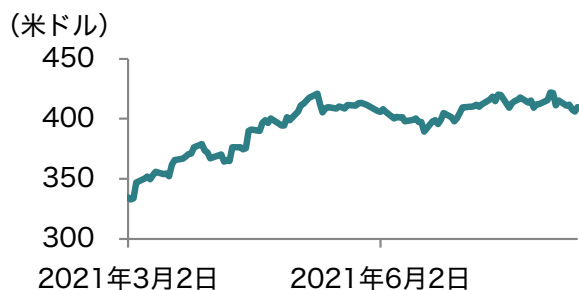
基準価額にプラスに寄与した銘柄

■ ユナイテッドヘルス・グループ

- **銘柄紹介：**米国の大手民間医療保険企業。幅広い顧客層に由来する膨大な顧客データを武器に、情報技術（IT）を活用した医療データ分析などの医療サービスを提供しています。
- **プラス寄与の理由：**新型コロナのワクチン接種進展と重篤患者の減少による医療保険料支払い額の減少予想などを追い風とし、株価が上昇しました。

《株価》

（期間）2021年3月2日～2021年8月13日、日次

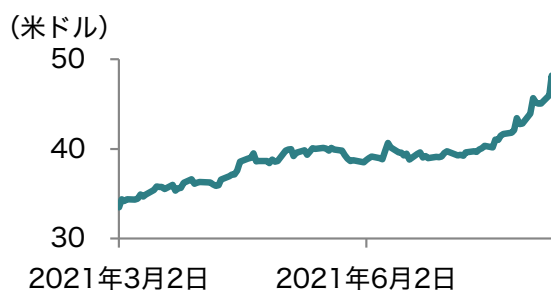


■ ファイザー

- **銘柄紹介：**米国の大手医薬品企業。既存製品に加え、質の高い経営陣のもと、開発中の新薬も豊富です。新型コロナワクチンの開発・製造で世界をリードしています。
- **プラス寄与の理由：**新型コロナのワクチン需要増加などを背景に、2021年第1および第2四半期の決算はともに良好な結果となり、業績予想の引き上げとともに株価が上昇しました。

《株価》

（期間）2021年3月2日～2021年8月13日、日次



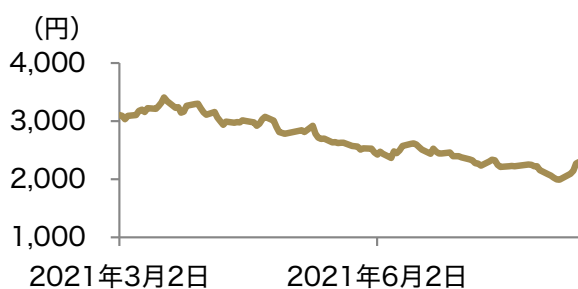
基準価額にマイナスに影響した銘柄

■ 第一三共

- **銘柄紹介：**日本の大手医薬品企業。がん領域での新薬開発に力を入れており、特にADC（抗体薬物複合体）と呼ばれる新しいタイプのがん治療薬の開発に高い技術力を持っています。
- **マイナス影響の理由：**ADCの技術力や開発中の新薬を引き続き高く評価しており、保有を継続していますが、研究開発費の増加に関する業績への影響が懸念されたことなどにより、株価が下落しました。

《株価》

（期間）2021年3月2日～2021年8月13日、日次

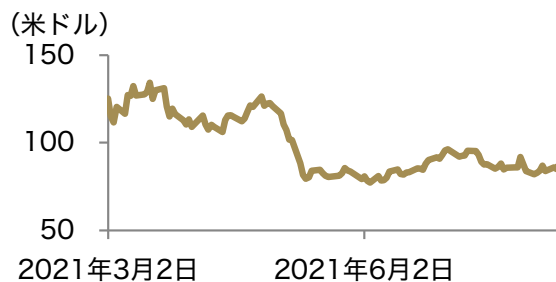


■ コディアック・サイエンシズ

- **銘柄紹介：**米国のバイオテクノロジー企業。先進国では多くの失明の原因となっている加齢黄斑変性を中心に、眼の網膜の疾患に対する治療薬の開発に強みを持っています。
- **マイナス影響の理由：**開発中の加齢黄斑変性向け治療薬への期待から保有を継続していますが、2021年5月10日に同新薬について米食品医薬品局（FDA）への承認申請を延期することが発表されたことなどにより、株価が下落しました。

《株価》

（期間）2021年3月2日～2021年8月13日、日次



（出所）ウエリントン社のコメント、各種資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。上記は、ウエリントン社が2021年3月2日から2021年8月13日の間に基準価額に影響を与えたと判断した銘柄の一例を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ヘルスケア業界の注目技術と

当ファンドの運用方針

(2021年8月27日時点)

ヘルスケア業界の中でもバイオテクノロジーの技術進化から目が離せません。ゲノム解析の技術向上やコスト低下などを背景に、有望なバイオテクノロジーベンチャー企業が急増しており、さらにバイオテクノロジー業界を盛り上げると予想しています。

バイオテクノロジーの分野で注目されている技術にmRNAの活用があります。mRNAという言葉は新型コロナウイルスのワクチン開発のニュースなどで聞いたことのある方も多いかと思います。mRNAを用いた研究は、もともとがん治療等の先進技術としてすすめられていましたが、新型コロナウイルスのワクチン開発にこの技術が活かされ、新型コロナウイルスのワクチンがmRNAを活用した医薬品として初めて実用化されました。また、かねてから注目されていたmRNAの技術を活かした季節性インフルエンザワクチンの治験も現在始まっています。

このようにmRNAの活用は幅広く、感染症分野だけでなく、がんを含む非感染症治療薬などの研究開発も行われており、今後ますます増えることが期待されています。



mRNAワクチン

ウイルスの遺伝情報をもったmRNA（メッセンジャーRNA）を体内に入れることで体内にウイルスのタンパク質を作り、そのタンパク質に対する抗体が作られることで免疫ができる。

mRNAの活用例

実用化

新型コロナウイルス

開発中

季節性インフルエンザ
マラリア
がん
心不全 など

・上記は一例です。

当ファンドでは、株価のバリュエーション（割高・割安の度合い）に着目しながら、これらのバイオテクノロジー企業や医薬品企業のみならず、ヘルスケア・テクノロジー企業やヘルスケア・サービス企業など、将来的に大きな成長が期待できる企業を精査し、幅広い投資機会を追求してまいります。

（出所）ウエリントン社のコメント、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・ 市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。・ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】

■先進国株式：MSCI ワールド インデックス ■先進国ヘルスケア株式：MSCI ワールド ヘルスケア インデックス

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>）を合わせてご確認ください。

【GICS（世界産業分類基準）について】

Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■ファンドの特色

特色1 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。

- ・世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
- ・株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。

特色2 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資(バリュー投資)を行います。

- ・新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
- ・銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。
- ・企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ*を行います。
- *【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

特色3 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

- ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあります。

特色4 株式等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。

※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

特色5 年2回決算を行い、収益の分配を行います。

- ・毎年2月27日および8月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。
- (ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

■ファンドのしくみ

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。
- ＜当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド＞
- グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

株価変動 リスク	株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。
為替変動 リスク	当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資していますので(ただし、これらに限定されるものではありません。)、為替変動リスクが生じます。これら外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあり、この場合には為替変動リスクが生じることがあります。 また、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジコストが発生する場合があります。円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2029年2月27日まで(2016年11月25日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2・8月の27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% をかけた額
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率2.420%(税抜 年率2.200%) をかけた額
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: グローバル・ヘルスケア & バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	